

平成 28 年熊本地震 益城町追悼式

平成 28 年熊本地震の発生から、この 4 月で 5 年の月日が流れました。町では、地震で犠牲になられた方々をしのぶため追悼式を開催しました。また、震災から 5 年の節目にさまざまな行事が行われていますので、併せてご紹介します。



平成 28 年熊本地震の発生から 5 年の節目となる今年、復旧が完了した益城町文化会館で 4 月 11 日、「平成 28 年熊本地震益城町追悼式」がしめやかに開催されました。

新型コロナウイルス感染対策のため参加者を制限して行われた式には、ご遺族 28 人をはじめ、来賓や町職員など、107 人が参列しました。

式に先立ち参列者たちは、震災で犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、黙とうをささげました。

濱田義之副町長の開式の辞で始まった式では、初めに西村町長が式辞を、次に、来賓を代表して蒲島郁夫県知事と稲田忠則町議会議長が追悼の辞を述べました。

ご遺族からは、長石美輪さんが代表して追悼の言葉を述べました。長石さんは、平田地区にお住まいであった祖母を熊本地震で亡くされており、時折涙ぐみ言葉に詰まりながらも、りんとした表情で言葉を紡ぎました。

続けて、参列者全員が、ステージ上に設置された祭壇に献花を行いました。また、同日、町と町議会は、「安全・安心なまちづくり」を共同で宣言。今年度の新入職員 2 人が、真剣な面持ちで宣言文を読み上げました。

最後に、酒井博範教育長が閉式の辞を述べ、式は幕を閉じました。

※式辞などは、次ページからご紹介します。

平成28年熊本地震益城町追悼式

